

## 1. 京都府緑と文化の基金（地域環境保全分）の残高等

		金額（単位：円）	備考
①	基金総額（前年度末基金残高）	280,000,000	
	内訳	うち、国費相当額	140,000,000
		うち、地方負担相当額	140,000,000
		うち、負担附寄附金等	0
②	基金運用益	10,502	
③	その他収入	0	
④	負担附寄附金等	0	
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額（処分額）	39,967,502	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	240,043,000	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	120,021,500
		うち、地方負担相当額	120,021,500
		うち、負担附寄附金等	0

## 2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額（単位：円）	備考
⑧	基金残高		240,043,000	
⑨	事業費（次年度から終了年度までの見込額）		240,043,000	
⑩	保有割合		1	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠  
 運用型：運用益見込額÷事業費（次年度見込額）  
 取崩型：基金残高÷事業費（次年度から終了年度までの見込額）

## 3. 事業一覧

番号	事業名	事業費			備考	達成度	事業費 （次年度）	事業費 （終了まで）
		合計	一般財源等	基金充当額				
1	環境保全府民運動推進事業	43,190,838	5,107,836	38,083,002		40%	36,107,200	216,600,000
内訳	①地球温暖化府民活動推進事業	15,903,800	403,800	15,500,000		40%	15,500,000	93,000,000
	②環境啓発イベント開催事業	13,438,000	3,388,000	10,050,000		40%	9,675,000	60,300,000
	③再エネ普及促進事業	9,614,220	1,081,218	8,533,002		40%	6,557,200	39,300,000
	④自然環境保全事業	4,234,818	234,818	4,000,000		40%	4,375,000	24,000,000
2	次世代環境担い手づくり事業	1,988,790	104,290	1,884,500		40%	3,900,000	23,443,000
内訳	①環境拠点等活用エコキッズ育成事業	684,500	0	684,500		40%	2,700,000	16,243,000
	②「WE DO KYOTO!」推進事業	1,304,290	104,290	1,200,000		40%	1,200,000	7,200,000
合計		45,179,628	5,212,126	39,967,502			40,007,200	240,043,000

## 4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	京都府域における温室効果ガス排出量を、2030年度までに2013年度比40%以上削減し、2050年度までに実質ゼロとする。	
成果実績	-17.8%	※2019年度数値（最新）
目標値	-40.0%	
達成度	44.5%	

## 令和3年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化府民活動推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

目的（各事項共通） 府民や環境団体等に対し、情報提供や啓発、支援等を実施することにより、家庭や地域、延いては地球環境の保全に向けた府民運動を推進する。
目標（各事項共通） 環境フェスティバルの参加者数3万人（Web開催のアクセス含む） （地域や学校のクラブ活動等で環境保全に関する啓発や保全を実施している団体が活動の発表や啓発、ネットワークづくりを行う）

## 2. 概要

各活動主体の連携や交流の核となる京都府地球温暖化防止活動推進センターを通じて、府民、各団体に対する情報提供、相談・助言、地域・団体の連携や取組を誘導するための事業等を実施することにより、府民、事業者、地球温暖化防止活動推進員（以下「推進員」という。）環境NGO、行政等、様々な活動主体が連携・協働して、地球温暖化防止に実効性のある取組が進むことを目指す。
---

## 3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"><li>・地球温暖化対策の推進に関する法律</li><li>・京都府環境を守り育てる条例</li><li>・京都府地球温暖化対策条例</li></ul>
--

## 4. 事業内容等

<p>(1) 府民、事業者等に対する相談窓口の常設（相談対応） 府民、事業者、学校、環境団体等からの相談に対し、活動のアドバイス、関連情報の提供、アドバイザー等の斡旋等を実施</p> <p>(2) インターネット等による情報の提供（情報提供） 地球温暖化問題についての基本的な知識や最近の動向、家庭・事業所のできる取組の紹介、各団体が行う研修会などの取組、助成制度、京都府地球温暖化防止活動推進員等についてインターネット等を通じて情報を提供</p> <p>(3) 親子温暖化教室の開催（環境学習） 教室の開催を希望する小学校、地域等の依頼に応じ、親子温暖化教室を開催</p> <p>(4) 地球温暖化防止活動推進員育成事業の実施 推進員に情報やノウハウを伝え、もって地域活動を活性化させることを目的とし、推進員研修会を開催併せて、推進員の活動実績が向上するよう、推進員の活動に必要な情報の提供や活動のための支援を実施</p> <p>(5) エコライフ推進事業</p> <p>① 省エネ相談所の開催 多くの府民が集まるイベントや大型店舗等において省エネ相談所を開催</p> <p>② 夏休み省エネチャレンジ（エコ親子） 家庭における地球温暖化対策の実践を促すため、夏休み期間中の「エコ親子」認定事業等を実施</p> <p>③ インターネット環境家計簿の運営管理 インターネット環境家計簿を運営管理し、環境家計簿の普及を促進</p>
--

令和3年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	地球温暖化府民活動推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

5. 事業工程表

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
(1) 相談窓口	通年実施			
(2) インターネット情報提供	通年実施			
(3) 親子温暖化教室	通年実施			
(4) 推進員育成	研修会②	研修会③	研修会④	
(5) ①省エネ相談所	通年実施			
(5) ②夏休み省エネチャレンジ	広報	事業実施	表彰	
(5) ③インターネット家計簿	通年実施			

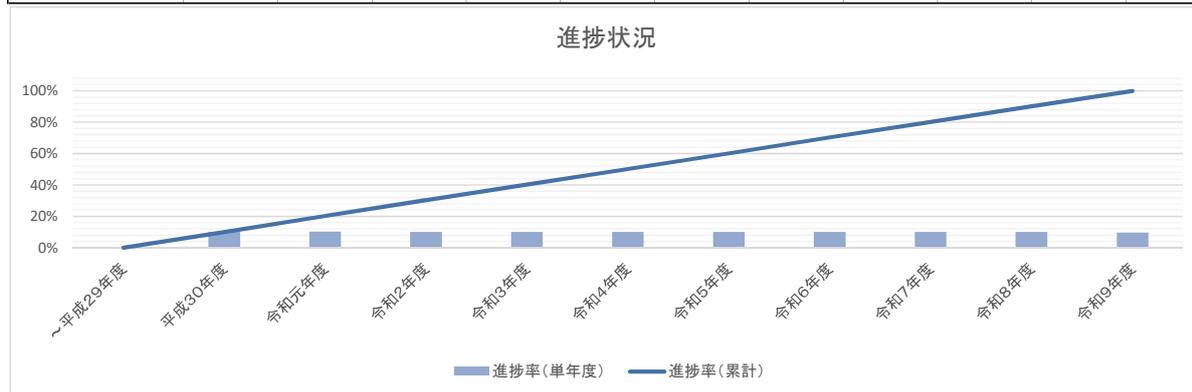
6. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	15,903,800	403,800	15,500,000	京都府地球温暖化防止活動推進センターへの事業委託
合計	15,903,800	403,800	15,500,000	(単位：円)

年度(単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		15,615	15,900	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500	15,500	15,093
事業費(累計)	0	15,615	31,515	47,015	62,515	78,015	93,515	109,015	124,515	140,015	155,108

7. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率(累計)	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



## 令和3年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境啓発イベント開催事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

<p>目的（各事項共通） 府民や環境団体等に対し、情報提供や啓発、支援等を実施することにより、家庭や地域、延いては地球環境の保全に向けた府民運動を推進する。</p> <p>目標（各事項共通） 環境フェスティバルの参加者数3万人（Web開催のアクセス含む） （地域や学校のクラブ活動等で環境保全に関する啓発や保全を実施している団体が活動の発表や啓発、ネットワークづくりを行う）</p>
---

## 2. 概要

<p>府民の環境意識の向上、環境団体等の取組発表の場の提供や団体間の連携を図るためのイベントを開催する。 また、環境保全に貢献されている著名人等によるシンポジウムを開催し、生活の質を高めながら、自然との共生や持続可能な社会の形成に向けた新たな価値観等を府民に提供する。</p>
--

## 3. 根拠法令等

<p>・京都府環境を守り育てる条例</p>
-----------------------

## 4. 事業内容等

<p>(1) 京都環境フェスティバル 府内各地で活動する環境団体や学校、企業等の出展（R3実績－NPO17、企業10、行政関係26、その他学校等17の計70団体）を得て、府民が環境問題や環境保全について楽しみながら学び考えることができる参加・体験型イベントを開催 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、特設WEBサイトにおいて、「SDGs」と「オンラインでつながる新しいネットワーク」をテーマに、オンラインで開催（期間：R3.11.1～R3.11.15） 環境保全活動に取り組むNPO、学校、企業、行政などの取組紹介の他、オンラインセミナーやワークショップ、オリジナルソングのPRなど参加者からのMy SDGs宣言」を繋ぎ合わせオリジナルソングを作成するなど、楽しみながら環境について学べるサイトとして工夫</p> <p>実行委員会 京都府、京と地球の共生府民会議、京都府地球温暖化防止活動推進センター、（一社）京都知恵産業創造の森、京都府産業廃棄物協会、総合地球環境学研究所</p> <p>(2) KYOTO地球環境の殿堂表彰式及び京都環境文化学術フォーラム 「KYOTO地球環境の殿堂（主催：環境省、京都府等による実行委員会）」表彰式を実施するとともに、殿堂入り者等をパネリストに迎え、府民向けシンポジウムを開催</p> <p>京都環境文化芸術フォーラム実行委員会 京都府、京都市、京都大学、京都府立大学、総合地球環境学研究所、国際日本文化研究センター</p>
--

令和3年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境啓発イベント開催事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

5. 事業工程表

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
(1)	京都環境フェスティバル	企画内容検討	広報・出展募集	開催	アンケート集計等
(2)	殿堂・フォーラム	パネリスト調整、広報等		開催	企画内容検討

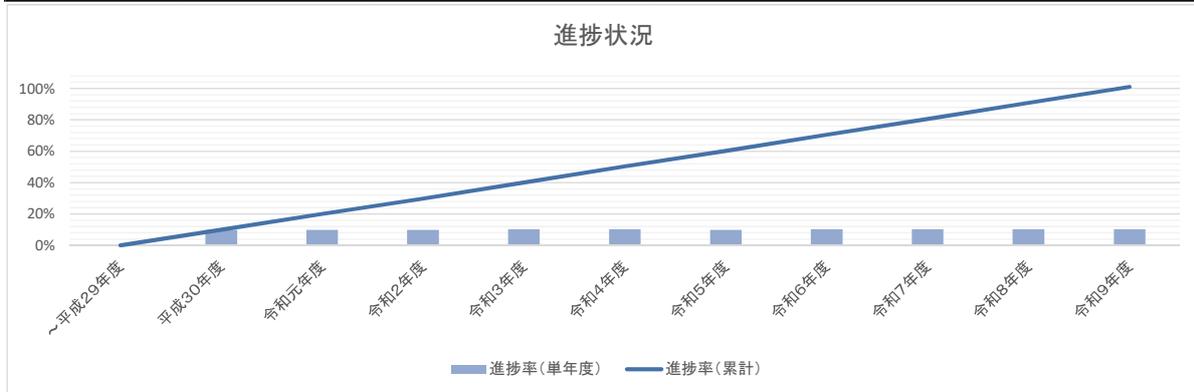
6. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
負担金	13,438,000	3,388,000	10,050,000	環境フェスティバル実行委員会等への負担金
合計	13,438,000	3,388,000	10,050,000	(単位：円)

年度 (単位:千円)	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		9,875	8,699	9,750	10,050	10,050	10,050	10,050	10,050	10,050	10,050
事業費 (累計)	0	9,875	18,574	28,324	38,374	48,424	58,474	68,524	78,574	88,624	98,674

7. 進捗状況等

年度	～平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率 (累計)	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	81%	91%	101%



## 令和3年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	再エネ普及促進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部エネルギー政策課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

## 目的（各事項共通）

府民や環境団体等に対し、情報提供や啓発、支援等を実施することにより、家庭や地域、延いては地球環境の保全に向けた府民運動を推進する。

## 目標（各事項共通）

環境フェスティバルの参加者数3万人（Web開催のアクセス含む）  
（地域や学校のクラブ活動等で環境保全に関する啓発や保全を実施している団体が活動の発表や啓発、ネットワークづくりを行う）

## 2. 概要

府民に身近な家電店や工務店等の方を「京都再エネコンシェルジュ」に認証し、相談から施工までワンストップで対応できるようにすることにより、府民の再エネや省エネの理解を促進し、再生可能エネルギー設備の導入を促進する。

## 3. 根拠法令等

- ・京都府環境を守り育てる条例
- ・京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例

## 4. 事業内容等

## (1) 再エネコンシェルジュ研修・認証

府民の再エネ導入に関し、積極的かつ適切に提案を行うことができるよう、再エネに関する幅広い知識の取得のための研修、認証試験を実施し、合格者を認証（R3年度の新規認証者51人、R4.4.1認証者206人）

## (2) 再エネコンシェルジュ活動支援

府民の積極的なコンシェルジュの活用による再エネ導入促進に向け、以下の取組を実施

- ・コンシェルジュやこれを支援する専門家のネットワークの構築
- ・コンシェルジュに関する情報について、府民への浸透を図るべく、ホームページやチラシの作成、普及啓発イベントの開催や新聞やラジオ等のメディア掲載を実施
- ・担当課に再エネコンシェルジュに関する専用電話窓口を設け、府民からの意見等を聴取し、コンシェルジュへの指導を行うなど制度の信頼性を確保
- ・苦情があった場合はコンシェルジュに対して指導をし、悪質な案件については認証を取消

令和3年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	再エネ普及促進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部エネルギー政策課	終了年度	令和9年度

5. 事業工程表

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
(1)	研修・認証(予定回数)	1回	3回	3回	1回
(2)	活動支援	通年実施			

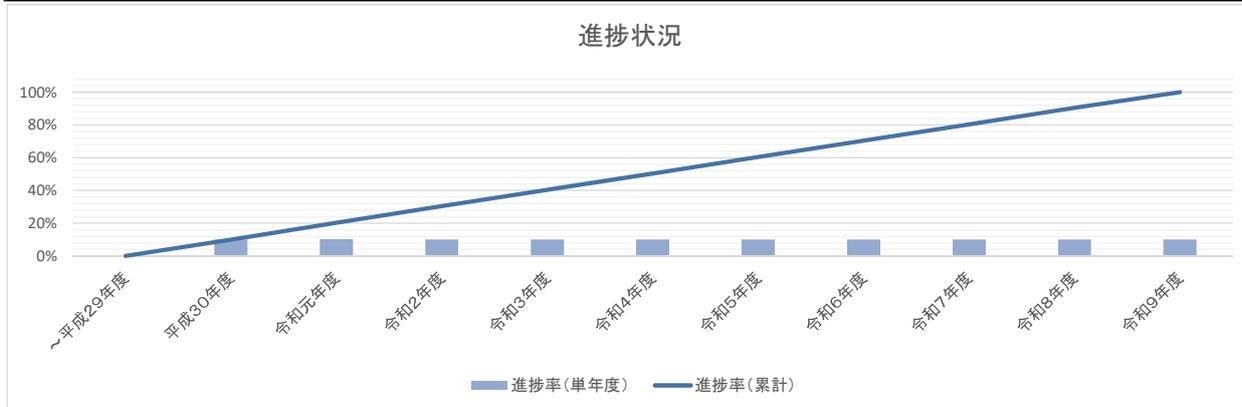
6. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託費	9,614,220	1,081,218	8,533,002	再エネコンシェルジュ研修や普及啓発事業の委託
合計	9,614,220	1,081,218	8,533,002	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		5,750	8,281	6,435	8,533	8,533	8,533	8,533	8,533	8,533	8,533
事業費(累計)	0	5,750	14,031	20,466	28,999	37,531	46,064	54,596	63,129	71,662	80,194

7. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率(累計)	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



## 令和3年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然環境保全事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部自然環境保全課	終了年度	令和9年度

## 1. 目的及び目標（値）

目的（各事項共通）  
府民や環境団体等に対し、情報提供や啓発、支援等を実施することにより、家庭や地域、延いては地球環境の保全に向けた府民運動を推進する。

目標（各事項共通）  
環境フェスティバルの参加者数3万人（Web開催のアクセス含む）  
（地域や学校のクラブ活動等で環境保全に関する啓発や保全を実施している団体が活動の発表や啓発、ネットワークづくりを行う）

## 2. 概要

京都の悠久の歴史と文化のなかで育まれた独自の生物多様性を未来へと伝えるため、京都府生物多様性地域戦略に基づく各種取組のうち、地域住民による保全活動や府民への保全意識の啓発事業を実施する。

## 3. 根拠法令等

- ・京都府環境を守り育てる条例
- ・京都府絶滅のおそれのある野生生物の保全に関する条例

## 4. 事業内容等

- (1) 保全回復府民協働事業  
条例で指定している希少野生生物の保全を行う地域団体の活動支援や調査を実施
- ・外部有識者の助言や講演等の謝金、旅費
  - ・専門的知識や特別な技能・資格が必要な調査等の委託
  - ・啓発資料作成や会場使用料等
- 活動支援団体（予定）：4団体3種（アユモドキ、ベニバナヤマシャクヤク、オグラコウホネ）
- (2) 外来生物対策事業  
外来生物のモニタリングや防除により、侵入、定着、拡大を防ぎ、生態系への影響を抑制
- ・外来種の第一発見者となる可能性が高い企業や府民の通報を促すため、外来種データブック等により周知を図る。
  - ・地域団体や府民と協働して集中防除を実施
- (3) 自然環境保全人材育成事業  
府内小学校等を対象（府内全域で募集）に自然観察会を行い、学校教育に生物多様性保全を取り入れる仕掛け作りを行うとともに、生物多様性に関する講演会等を行い、広く府民に自然とのふれあいの機会を提供

令和3年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	自然環境保全事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部自然環境保全課	終了年度	令和9年度

5. 事業工程表

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
(1) 保全回復府民協働事業	募集、交付決定	保全活動		補助金交付
(2) 外来生物対策事業	通年実施			
(3) 自然環境保全人材育成事業	募集	観察会(4回)、講演会(1回)		

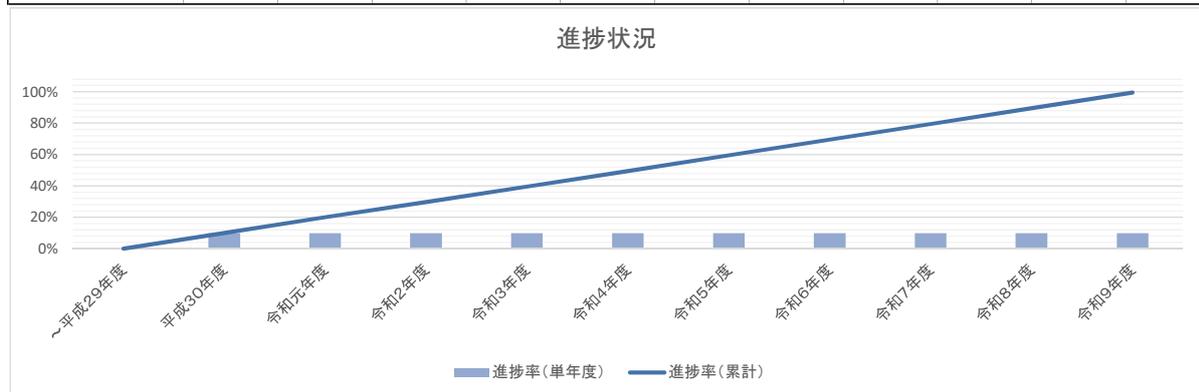
6. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
補助金	2,583,000	0	2,583,000	保全団体
報償費	18,400	0	18,400	研修講師
旅費	9,657	0	9,657	研修講師
役務費	0	0	0	郵送等
委託料	1,623,761	234,818	1,388,943	駆除活動の運営委託 調査委託
使用料	0	0	0	会場等
合計	4,234,818	234,818	4,000,000	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		4,500	4,500	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000
事業費(累計)	0	4,500	9,000	13,000	17,000	21,000	25,000	29,000	33,000	37,000	41,000

7. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率(累計)	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境拠点等活用エコキッズ育成事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部自然環境保全課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

目的（各事項共通）

次代を担う子どもたちに対する環境教育を実施することにより、中長期的な視点での環境保全の担い手を育成する。

目標（各事項共通）

環境学習プログラム延べ参加者数 6,000人

2. 概要

丹後海と星の見える丘公園等の府立施設を活用し、大学や府内民間企業、環境NPO等と連携した環境学習を実施することで、時代を担う子どもたちにエネルギーを巡る諸課題に対する体験的な学習の場を提供するとともに、環境・エネルギー問題への関心を高め、自然と共生できる環境人材の育成を目指す。

3. 根拠法令等

- ・京都府環境を守り育てる条例
- ・京都府地球温暖化対策条例
- ・京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例

4. 事業内容等

(1) 北部環境拠点エコキッズ育成事業

丹後海と星の見える丘公園の再エネ設備（太陽光、太陽熱、バイオマス、小水力等）を活用した再エネ・省エネ講座や発電を利用した工作教室を実施

ホームページやチラシ等で参加者を募集し、R1実績は小学生以上の親子247人参加

R2は少人数での工作教室を4回実施し31人が参加、R3は、1回実施し2人が参加

（新型コロナウイルス感染症の影響で、丹後地域の学級閉鎖や休校が相次ぎ、参加者が集まらなかった。）

(2) 大学等連携環境学習

大学や府内民間企業、環境NPO等と連携し、京都の暮らし・文化・自然・歴史を学び、体感できる環境学習の実施

令和3年度は、「文化環境」をテーマに、計6回のプログラムをオンラインで実施

プログラムには「演劇的手法」を取り入れ、人類学者や大学の教育学の先生たちが協働

令和3年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	環境拠点等活用エコキッズ育成事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部自然環境保全課	終了年度	令和9年度

5. 事業工程表

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
(1)	北部環境拠点エコキッズ育成事業	実施内容協議	ワークショップ開催		結果集計・反省等
(2)	大学等連携環境学習	実施内容協議	事業実施		結果集計・反省等

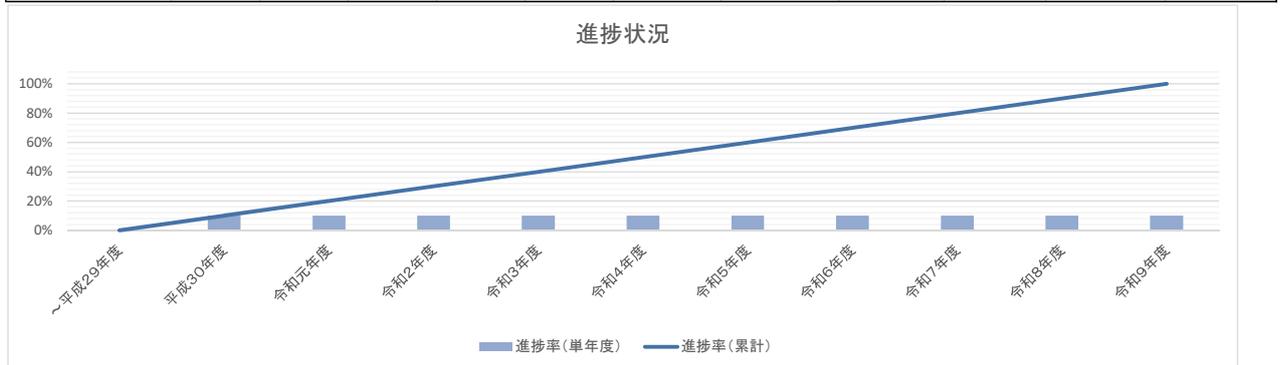
6. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
委託料	684,500	0	684,500	環境学習・ツアー委託料
合計	684,500	0	684,500	(単位:円)

年度 (単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費 (単年度)		3,504	1,620	3,360	684	684	684	684	684	684	684
事業費 (累計)	0	3,504	5,124	8,484	9,168	9,852	10,536	11,220	11,904	12,588	13,272

7. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率 (単年度)		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率 (累計)	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%



令和3年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	「WE DO KYOTO!」推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>目的（各事項共通） 次代を担う子どもたちに対する環境教育を実施することにより、中長期的な視点での環境保全の担い手を育成する。</p> <p>目標（各事項共通） 環境学習プログラム延べ参加者数 6,000人</p>
---

2. 概要

<p>「脱炭素社会」の実現に向け、次代を担う若者や子供たちの環境人材としての育成に力点を置いた取組を実施</p>
--

3. 根拠法令等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府環境を守り育てる条例</li> <li>・京都府地球温暖化対策条例</li> </ul>
---

4. 事業内容等

<p>(1) ユースサポーターズ会議 府主催の環境啓発イベント等の運営を補助するボランティアとして委嘱しているユースサポーターが、主体的に環境保全活動に取り組めるよう、ユースサポーター発案のイベント等への支援を実施</p> <p>(2) 環境を守り育てる京都づくり推進事業 パリ協定が目指す「脱炭素社会」実現の担い手となる子ども達の環境意識の一層の向上を図るため、環境学習を企画・実施される方への情報提供に力点を置いたWebサイトを運営。環境学習の取組を支援。</p> <p>(3) 啓発事業 小学生等家庭部門向けに、気候変動に関する啓発物品を配布。</p>
---

令和3年度 事業報告書

事業名	環境保全府民運動推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	「WE DO KYOTO!」推進事業	開始年度	平成30年度
担当部署	府民環境部地球温暖化対策課	終了年度	令和9年度

5. 事業工程表

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
(1) ユースサポーターズ会議	通年実施			
(2) 環境を守り育てる京都づくり推進事業	通年実施			
(3) 啓発事業	通年実施			

6. 事業費等

	合計	一般財源等	基金充当額	備考
旅費	59,900	0	59,900	ユースサポーター等旅費
役員費	12,500	0	12,500	ボランティア保険料
使用料	49,450	0	49,450	会場借り上げ費用
委託料	1,182,440	104,290	1,078,150	啓発事業等委託料
合計	1,304,290	104,290	1,200,000	(単位:円)

年度(単位:千円)	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
事業費(単年度)		2,000	1,000	1,000	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
事業費(累計)	0	2,000	3,000	4,000	5,200	6,400	7,600	8,800	10,000	11,200	12,400

7. 進捗状況等

年度	~平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
進捗率(単年度)		10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%	10%
進捗率(累計)	0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%	100%

